

弥栄病院オープンホスピタルに 本校生徒が参加しました！



7月24日の午後、京丹後市立弥栄病院にてオープンホスピタルが催されました。そこに加悦谷高校からは、3年生6人が参加しました。

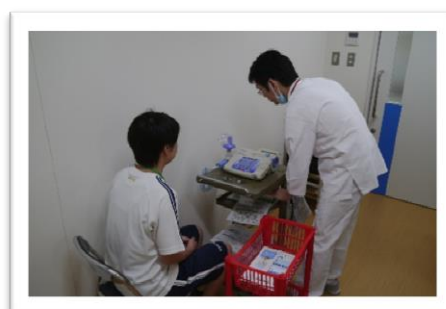
まずは、弥栄病院の医療職についての紹介です。計13職種について、その職種に就くまでの道のり、実際の仕事内容、働ける場所、そして、求められる資質・能力などの話がありました。



【説明のあった13の職種】

看護師、助産師、薬剤師、視能訓練士、放射線技師、臨床検査技師、社会福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、臨床工学技士、医師

職種の説明が終わった後は、生徒達は自身の希望する職種ごとにわかれ、体験会がはじまりました。実際の臨床施設の中で、それぞれが目指している医療職の仕事にふれることができました。



参加した生徒の声

- 「管理栄養士の働き方を詳しく知ることが出来ただけではなく、自身の希望する職種以外にも、他の医療職についての話も聞くことができたので、貴重な経験となった。」
- 「実際の体験の中で、目の前の患者さんが、“ああ、今日はよく腰が伸びるわぁ”と嬉しそうに言うておられて、私もこんなふうに患者さんと一緒に喜びあえる理学療法士になりたいと感じた。」
- 「国家試験や大学生活のことまでアドバイスしてもらえたのでよかった。」

さいごに・・・

今回、加悦高生が参加する機会を得た弥栄病院のオープンホスピタルの背景には、「この一日の経験が、高校生にとって人生の道しるべとなるように・・・」という、病院長の想いがあったようです。自分のなりたい職種について学べ、さらに、その他の医療職についても知ることができ、参加生徒が将来のキャリアイメージをふくらませたことと思われます。

現在、医療の現場では「チーム医療」の必要性が謳われています。この度のオープンホスピタルには京都府の北部地域から 64 名が参加していました。その高校生たちが共に学び、体験に取り組んでいる姿を見ていると、「彼らが将来、この地域で医療職に就き、協働しながら、ひとりの患者さんを救っていくのかな」という考えが湧き、期待で胸がいっぱいになりました。

この夏、加悦谷高校の看護医療系の進路を志す生徒たちは、その他の病院のオープンホスピタル、学校のオープンスクール、また、本校主催の「看護医療系に進学した卒業生との懇談会」などへの参加を通じて、さらに卒業後の進路イメージについて考えていきます。